

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年10月11日(2024.10.11)

【公開番号】特開2023-40722(P2023-40722A)

【公開日】令和5年3月23日(2023.3.23)

【年通号数】公開公報(特許)2023-054

【出願番号】特願2021-147856(P2021-147856)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月3日(2024.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される期待度を示唆可能な示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

遊技者にとって有利であって、前記有利状態に制御される期待度とは異なる内容を示唆可能な特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、

演出音を出力可能な音出力手段と、

を備え、

前記示唆演出実行手段は、

30

前記示唆演出として、第1示唆演出と該第1示唆演出よりも実行期間が長い第2示唆演出とを実行可能であり、

前記第1示唆演出と前記第2示唆演出のそれぞれを、第1演出態様と該第1演出態様よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第2演出態様とを含む複数の演出態様にて実行可能であり、

前記有利状態に制御されるときに前記第2示唆演出が前記第2演出態様にて実行される割合は、前記有利状態に制御されるときに前記第1示唆演出が前記第2演出態様にて実行される割合よりも高く、

前記特殊演出実行手段は、

前記特殊演出として、第1特殊演出と、該第1特殊演出よりも有利な内容が示唆される第2特殊演出と、を実行可能であり、

40

1の可変表示において前記示唆演出が前記第2演出態様にて実行された回数が第1回数である場合と該第1回数よりも多い第2回数である場合とで、異なる割合で前記第2特殊演出を実行可能であり、

前記音出力手段は、

前記第1示唆演出を開始するときに第1期間に亘って前記第1示唆演出に対応する演出音を出力可能であり、

前記第2示唆演出を開始するときに前記第1期間よりも短い第2期間に亘って前記第2示唆演出に対応する演出音を出力可能である、

ことを特徴とする遊技機。

50

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、前記有利状態に制御される期待度を示唆可能な示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

遊技者にとって有利であって、前記有利状態に制御される期待度とは異なる内容を示唆可能な特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、

演出音を出力可能な音出力手段と、

を備え、

前記示唆演出実行手段は、

前記示唆演出として、第1示唆演出と該第1示唆演出よりも実行期間が長い第2示唆演出とを実行可能であり、

前記第1示唆演出と前記第2示唆演出のそれぞれを、第1演出態様と該第1演出態様よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第2演出態様とを含む複数の演出態様にて実行可能であり、

前記有利状態に制御されるときに前記第2示唆演出が前記第2演出態様にて実行される割合は、前記有利状態に制御されるときに前記第1示唆演出が前記第2演出態様にて実行される割合よりも高く、

前記特殊演出実行手段は、

前記特殊演出として、第1特殊演出と、該第1特殊演出よりも有利な内容が示唆される第2特殊演出と、を実行可能であり、

1の可変表示において前記示唆演出が前記第2演出態様にて実行された回数が第1回数である場合と該第1回数よりも多い第2回数である場合とで、異なる割合で前記第2特殊演出を実行可能であり、

前記音出力手段は、

前記第1示唆演出を開始するときに第1期間に亘って前記第1示唆演出に対応する演出音を出力可能であり、

前記第2示唆演出を開始するときに前記第1期間よりも短い第2期間に亘って前記第2示唆演出に対応する演出音を出力可能である、

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50